●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等

自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値
さくら市	学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	家庭の環境等により、学習習慣の確立が困難な児童・生徒が増加しており、学校・家庭以外での学びの場を確保することが重要になってきている。	地域の教員OB・大学生などの学習サポーターを配置し、放課後や土曜日の学習支援を行う。	家庭の経済状況にかかわらず、すべての児童・生徒が無料で参加できる学習の場を設ける。 退職教員や大学生、地域の学習支援ボランティアによる学習支援を、中学生は長期休暇を除く毎週水曜日、小学生は土曜日に公民館や地域の福祉施設で行う。 県内大学や各学校の学校運営協議会と連携を深め、学習サポーターの人数確保に努める。	学校以外で学習する児童・生徒が増える。	学校以外で、中学生では平日に、小学生では休日にそれぞれ2時間以上学習する児童・生徒の割合（学習状況調査）	28	%	30